

記者発表資料

提供日：平成 18 年 4 月 11 日

担 当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局

連絡先：03-3664-8739



JFS 受賞マーク

ジャパンフラワーセレクション花壇苗等部門・春花壇の審査会を 浜名湖ガーデンパークで開催し14品種が入賞に選出。

1. 概要

4 月 10 日浜名湖ガーデンパーク内ジャパンフラワーセレクション審査用花壇でジャパンフラワーセレクション花壇苗等部門・春花壇の審査会を実施し、14 品種が入賞に選定されました。本審査会は、今年春からスタートした花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」の花壇苗等部門では第 1 回目の審査会です。今回「入賞」した品種は今後「JFS 受賞マーク」を表示して販売することができます。また、年末の中央審査委員会における「最優秀賞 (Flower of the year)」「優秀賞」「特別賞」の選定にノミネートされます。

■審査対象

年 5 回 (春、初夏、夏、秋、冬) 季節ごとに実施される花壇苗等部門のうち春花壇出品品種を審査しました。

出品品種数 32 品種

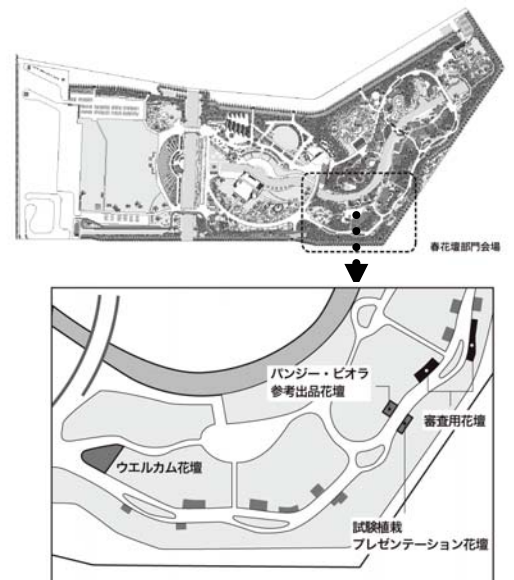
- ①パンジー・ビオラ 26 品種
- ②その他草花類 6 品種

※出品品種は、6 月頃までジャパンフラワーセレクション審査用花壇で植栽された様子をご覧ください。

■審査委員

国内の花き業界を代表する学識者、フラワーデザイナー、花の市場関係者など 6 名の審査委員により、公正な視点で専門的に審査を行ないました。

大川 清	静岡大学 名誉教授
高林 成年	元京都植物園 園長
福永 哲也	豊明花き株式会社 特務執行役員
三輪 智	元静岡県農業試験場 場長
村松 文彦	株式会社村松園芸 代表取締役
斉藤 彰	株式会社するが花き卸売市場 取締役 園芸部長



2. 入賞品種、受賞者は別紙

次回夏花壇の審査会は 6 月 1 日 (木) に実施します。

審査委員長講評

- ・初年度で定植苗の大きさが著しく異なったにも拘わらず、審査時点の生育は概ね揃っていた。
- ・今冬の厳しい寒さを考えれば出品者にも満足してもらえる生育状況であった。
- ・栽培は2箇所に分けて行われたが、生育状況に大きな差は認められなかった。
- ・今後の課題としては定植時の苗の大きさを市場出荷時の大きさに揃える必要があるだろう。